

私たち学校法人フレンド恵学園は、4月1日この場所で幼保連携型認定こども園・浦河フレンド森のようちえんを開設いたします。これから、この新しい園舎とすぐ隣にある豊かな森(「かしわの森」と呼んでいます)で、地域のみなさまと共に【夢が生まれる場所】を作っていきたいと思っています。

【自然と人間を愛する^{きょういく}共育】

【子ども第一主義】

【Diversity School】ダイバーシティ (多様性)・スクール

これらは本法人が掲げる理念です。

これらの理念を体現しているのが、「かしわの森」と新しい園舎です。

「かしわの森」での活動について

豊かな自然が広がる「かしわの森」は、専門家による生態や環境の本格的な調査を経て、馬の力も借りながら(馬^{ばはん}搬)、子ども達が安全・快適に過ごせるよう整備されてきました。

なぜ、私たちは子ども達を森に連れ出したいのか。それは、自然の中でしか子ども達が経験できないものがあるためです。この考え方は年々より多くの人々の間で共有されるようになってきています。【森のようちえん】の実践が世界中で広がりを見せているという事実が、それを物語っています。

【森のようちえん】とはデンマーク発祥の「自然体験活動を中心に据えた幼児教育・子育て」を言います。自然は人工物にない力を宿していて、子ども達にとって必要不可欠なものです。自然の中で子どもの五感^{ごかん}は刺激され、その刺激は心や脳、身体の健やかな育ちに繋がります。自発性やコミュニケーション力などの「非認知スキル」も大いに育ちます。その他にも自然が持つ力の例を挙げればきりがありませんが、自然の中で遊んでいる子ども達の目の輝きが、最もよく自然の素晴らしさを証明してくれているのかもしれません。

私たちが目指す森との関係性は、「Give&Take」です。森を単に「活用する場所」として捉えるだけでなく、【豊かな森をつくる】営みを大切にします。園の職員はもちろん、子ども達や保護者、地域の皆様、専門家などが皆で力を合わせて、楽しみながら後世に繋ぐ豊かな森を作っていくことを目指します。

そして、【子育て】についても力を合わせたいと思います。子ども達は、保護者だけでも、園の職員だけでもなく、地域の皆様と力を合わせて共に育てたい、私たちの【宝物】です。自然の中で、人の中で、共に助け合い、共に学びあい、共に^{うやま}敬いあい、共に育ち育てることを夢見ています。これから園の子ども達は日常的に森で遊ぶこととなります。地域のみなさまにも、ぜひ、この森の素晴らしさを体験してほしいと願っています。

園舎について

この園舎を一言で言い表すならば、【不都合な園舎】です。多数の柱が床から斜めに立ちあがり頭をぶつけないように歩かないといけない上、垂直な壁がほとんどないため収納に頭を悩ますなど、大人にとっては「面倒臭いことが多い」と感じる建物かもしれません。壁のない空間で保育を行うには様々な工夫も必要とされます。つまり、「効率的でない」建物と言えるかもしれません。

しかし、子ども達にとっては自由な発想で遊びを作り出せる、五感や美意識が育つ、楽しい空間が広がります。また、子ども達だけでなく、不都合だと思っている大人さえ、すべての人が「心地よさ」や「自然」を感じられる空間です。窓から見える景色や風、音、射しこむ光などを通して、園舎の中にいる時も私たちは自然の息吹やリズム、季節の移ろいを五感で感じることでしょう。この園舎は「大人の都合」や「効率性」よりも【子ども中心】【人間中心】を追求した建物であり、私たちの理念を体現しています。

その他の特色

木材 道産木材を中心に多くの木材が使用されています。床については、場所によって異なる木材が使われていて、色合いや手触りの違いが楽しめます。

壁 京都御所や桂離宮などでも使われている「パラリ壁」と呼ばれる伝統ある漆喰の壁が、現代の技法で施工されています。材料はホタテの貝殻の粉末、でんぶん糊、食品にも使われるセルロースファイバー、水から成り、すべて北海道産の自然素材です。そして、自然素材で作られている漆喰の壁には、様々な効果が期待できます。

- ・自然の中にいるかのような心地よい空間を生み出します。
- ・壁が呼吸しながら、湿度調整と空気清浄を行います。
- ・アルカリ性で殺菌作用があるので、カビや菌を瞬間的に死滅させる力があり、衛生的で心地よい空間を生み出し続けます。

また、欠けた箇所があれば、その欠けた素材を水と混ぜ、再び壁に戻して修復が可能です。

床暖房 地中蓄熱層と輻射熱を利用した「サーマ・スラブ」という間接暖房システムを利用し、寒い季節でも建物全体で春のような心地よさを実現しています。また、温度は20°C前後、湿度は40%前後が維持されるので、《過乾燥》(免疫力を弱め、風邪などの感染症の蔓延を招く状態)の発生を防ぎます。

給食 身体と味覚を育てる、美味しい給食を提供します。置戸町の学校給食を「日本一」と称されるものにし、2012年NHK「プロフェッショナル・仕事の流儀」にも出演された佐々木十美氏を「食育アドバイザー」に迎え、「本物の食」を追求していきます。日本全国から取り寄せる本物の塩や醤油、みりん等の調味料。日高昆布や鰹節、煮干しを使い一からとる出汁。浦河産の特別栽培米をはじめ地元の新鮮な食材。そのようなことにこだわり、手間ひまをかけた料理で子ども達と職員の心身の健康に貢献したいと願っています。将来は地域の皆様と共に「手作り味噌」や自家農園の挑戦も夢見ています。

【Diversity School】という理念が示す通り、私たちは【多様性】を大切にしたいと思っています。多様な子ども達、多様な大人たち、多様な考え方、多様な生き方、多様な価値観、多様な働き方、多様な活動。この場所を拠点に様々な人が集い、つながり、助け合う。そのような世界が広がっていくことを夢見ています。これからも、みなさまのお力添えを賜りますよう、心よりお願いいたします。

